

- 1、開始時期 6月より
- 2、指導曜日 基本的に水曜日に行います。行事等により変更もありますので、毎月の以上児だよりでご確認ください。
- 3、指導時間 午前中に幼稚園のバスに乗ってプールに向かいます。
※ しばらくして落ち着いたらプール参観を行います。詳細は、以上児だよりをご確認ください。参観はテスト日でなければ自由に見学できますので、職員室にお声かけください。
- 4、用意するもの
防水の手さげ（プールバッグ）に水着・水泳帽子・タオル（フェイスタオル）を入れて持たせてください。タオルには右ページの図のようにひもをつけてください。
 - (1) 記名のお願い
3cm×8cmほどの大きさの白い布に油性マジックで名前を書いて縫い付けてください。（アイロンプリントの名札布もありますが、はがれてきたら縫い付けてください）
 - (2) **女兒の水着**は、ワンピースタイプのシンプルなものをお願いします。
男児の水着は、トランクスタイプは活動しにくいので、体にフィットするものをお願いします。また、ひもでウエストを調節するタイプのものは、ひもを引き抜いてゴムだけでフィットするように調節してください。
 - (3) 水着は持ち帰りましたら、家庭でよく洗濯してください。（陰干しがよいようです）
 - (4) 水泳帽子はオレンジ色のメッシュタイプのものに、右図の要領で名前を書いてください。
※水着は、ビニール袋などに入れずにそのままプールバッグに入れてください。濡れた水着は脱水にかけてから持ち帰ります。床に落ちたビニール袋を踏んで転倒する恐れがありますので、ビニール袋は持たせないでください。
- 5、その他
 - ・プールに入れない場合はメモ等で担任に知らせ、水着を持たせないでください。
 - ・プールへの往復はバスで行います。指導は山王幼稚園職員の柳瀬貴子先生とたちばなのクラス担任があたります。事故のないように充分配慮いたしますので、ご安心ください。最新設備により、常に清潔な水が保持されています。前橋保健所の指導も受けていますので、衛生面でもご安心ください。
 - ・プールでの指導内容や、その子の進歩の様子などはつぶやきのファイルに入れて年に3回お知らせしますので、確認後ファイルに入れて園に戻してください。年度末の製本時につぶやきのページに入れます。
 - ・女の子は髪を短く切るか普通の髪ゴムでシンプルなポニーテールか二つ縛りなどにしてください。また、安全のため髪飾りやヘアピン等は付けないでください。
 - ・衣類には、下着にもしっかり記名し、着脱しやすい服装で登園させてください。
 - ・プールのある日は水着の入ったバッグを忘れないようにお願いします。

※当日水着を忘れた場合は、保護者の方と連絡が取ればたちばなの水着でプールに入ることができます。使った水着は持ち帰りますので洗濯をして園に戻してください。

《 注意事項 》

眼科、耳鼻科、皮膚科、内科関係等で心配があるお子さんは、医師の診察を受けていただき、もしプールに入れない場合は、その旨を担当までご連絡ください。なお、次の疾患については正しいご理解をお願いします。

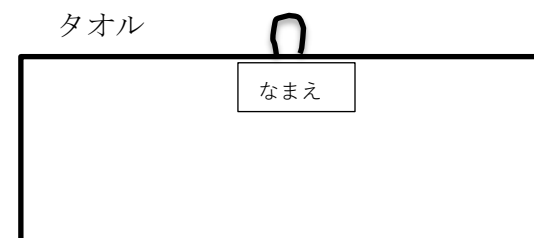
ア、水いぼ・・・これは、プールに入る入らないに関係なく幼い子どもに多い皮膚の病気です。皮膚の弱い脇の下などにできやすく、大きさは1mmから1cmくらいになります。表面はつやつやしていて、よく見ると白色をしたおへそがあります。つぶれた時に出る液で伝染すると言われていています。肌着やタオル、シーツなどは共用しないようにしましょう。治療やプールに入ってもよいかなどはその時の状態にもよりますので、医師とよく相談してください。

イ、外耳炎・・・プールで潜ったりしているうちに水が耳に入ってなかなか出てこないことがあります。心配ありません。ほっておいても乾燥してしまいます。気になって綿棒等で強くほじったりすると傷ができることがあります。傷が化膿すると外耳炎になります。

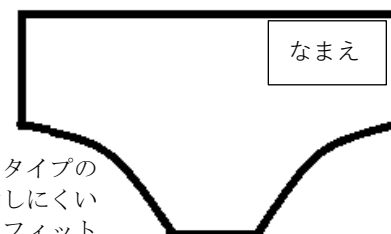
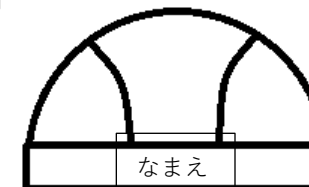
ウ、中耳炎・・・これは必ず内部からくるものです。水泳で耳に水が入って内耳炎になることはありません。のどに炎症があったり、風邪をひいているときに泳いだりすると中耳炎になることがあるようですが、あまり神経質にならなくてよいようです。

※ときどき耳そうじをし、いつも耳を清潔にしておきましょう。また、プールに入った日はよく見てあげてください。爪が伸びていると危険です。こまめに切っておいてください。

<名前の書き方>



帽子



トランクスタイプの水着は活動しにくいので、体にフィットするデザインのものにしてください。

